

(1) 日刊 (除月曜) 昭和21年6月1日 (第3種郵便物認可) 昭和24年2月23日
運輸省特別販承認第238號

いわき民報

牛豚肉

トンカツ
コロヅケ

よつて組織する。「神谷魁
が十五日午後六時から
官亭大貢で設會式をあげ
彼の親睦を圖ろうと云
か組いで役員は次の如く

ソース 希望配給
東京都内で家庭配給して大好評を博しました砂糖入キリンソースを市内各店で五月十五日より希望配給致します

(配給價格一合十圓) (切符不用)

平市六丁目 中野商店 銀座街 白土屋食品店

次で増田建設相壇上に立ち、かつて本縣知事であり地方官として浮草稼業をして歩いたが福島縣民ほど純朴な人情厚い縣はなくその露據には供米、石炭増産などについて立證され最も親しみと感情を感じてゐる。と讀辭を送り大竹知事、關内代議士の政治家としてウソのない至誠の侍主である美點と共に實績、關内代議士は非常な強家で議會における種々面倒な法制上の問題に精通している關係からこの度電通委員長の要職に押されたもので將來大いに囁き目される、次で木村清治元代議士とその子守江候補者の父子二代に亘る政治家として感激した一事がある、即ち私が知事時代に代議士を一度もやつた清治翁が縣議として出て居られた、その理由を聽いた處せがれ守江は重畠として出征してい

て、經濟界の不振によつて失業者が群は増大の一途をたどつてゐるが、平石炭局管内に於ける昭和十四年度中の企業合理化、休廃止に伴う災難失業者多數を數え十五年度中にも

次で増田建設相壇上に立ち、かつて本縣知事であり地方官として浮草稼業をして歩いたが福島縣民ほど純朴な人情厚い縣はなくその露據には供米、石炭増産などについて立證され最も親しみと感情を感じてゐる。と讀辭を送り大竹知事、關内代議士の政治家としてウソのない至誠の侍主である美點と共に實績、關内代議士は非常な強家で議會における種々面倒な法制上の問題に精通している關係からこの度電通委員長の要職に押されたもので將來大いに囁き目される、次で木村清治元代議士とその子守江候補者の父子二代に亘る政治家として感激した一事がある、即ち私が知事時代に代議士を一度もやつた清治翁が縣議として出て居られた、その理由を聽いた處せがれ守江は重畠として出征してい

て、經濟界の不振によつて失業者が群は増大の一途をたどつてゐるが、平石炭局管内に於ける昭和十四年度中の企業合理化、休廃止に伴う災難失業者多數を數え十五年度中にも

資源廳に於て開催されたが同會議に齊藤局長と同僚して出席した多田課務課長は十四日臨平次の通り語った。

この會議で平石炭局は東京通運局石炭部に所属八月一日から平石炭事務所としてスタートする、所長は平石炭部次長が兼任する、事務所の機構は現在の八課の中總務、炭政、經理、施設の四

今年は三千五百名豫想

失業對策協議

十九日石炭協會で

最高三千五百名の失業者が復生するだらうと豫測されてゐる現在、今後の炭鉱失業者如何に救濟すべきかとの對策打合せ會議が十九日午前十時半から平市東部石炭協會で開室に平石炭局、東亞石炭協會

素質低下の参院刷新に
木村候補を議會に送れ
昨夜増田建設大臣獅子く

束した。これによつて、この處方策によつたものだが、副作用も現れて中小商工業問題、農業恐慌等も出て來たが、これも當分の間の辛権で遠からず解決される。即ち建設事業資金は昨年は十六分譲の汽車で青

かの 一大 母の じいと 九時五 森に向 母の口に寄せて

さ
フレンチコンヘー
ホットドッグ……を
御賞味下さい
高級ハンバーカリー
洋生菓子
東京尚
平市才植小路電一〇
御電話を御利用下さい
即時御掛け申上げます

城山 谷口 八百屋
北町 草野
細町 須藤商
鍛治町 佐々木商店

なつた
一千六百萬圓
錦町の豫算
戸敷一千九百三十四戸人口約
一万人を抱う錦町役場の本年
度の歳入出繰豫算額は一千六
度
甘藷を落花生に轉換
種の採取地を選び普及
石城地方事務所では甘藷ただけ
しか生産出来ない農地に對しし
て落花生の栽培試験に乗り出し
し去る八日神谷の原種農事試
驗場で擔當者の栽培講習會を開
いたが、芋類の統制撤廻に
よつてこれに代るものとして
落花生は一大いに期待されている、落
花生は一斗から四斗は
確質で將來は甘藷の轉換地作
物として普及されるが、とり
あえず今年は左記の如く擔當
町村を設けて種取りを行ふ
れと云ふ目新らしい事
い、農村にも金語りの
きまくり豫算額が一時
を突破した事もあるが
ば十万円足らずで近く
見込んだと言ふ
単位は反)
泉一・山田一・錦
二、高久一・永戸
一、四倉一、八、原
一、計一町 反八畝
十五日朝川前村上橋
村上三段の一部に臨
約十町歩の菜園に耕
川前、二
神谷郷友会
發會式舉

えてくれ
居られま
に感謝さ
えりみて
よき母
て母の日
反省さ
いたし
◆ 植田便り ◆
◆ 植田町中學校のPTA會
は十日總會を開き事務報告
二十五年度の収穫審議役員
の改選を行つた結果左記諸
が選任された
◆ 會長成瀬田三、副會長箱
義一、同古川くら、同永
昌次、經理長小野保、書
長林先生
◆ ①地交換分會説明會は十
日福田町役場に於て開かれ
講師は農業地課新城主事及
平地方事務所農業課長の兩
に出て常
きを觀賞
台を見學
之内辨財

一級品キリンソース販賣價格
キリンソース二合瓶入 四十五円ばかり賣 合十五円
キリンとんかつソース二合瓶入 五十五円
ばかり賣 一合二十五円

謹 告

今般店舗擴張及店内改裝のため十五
日より一週間の豫定で休業させて戴
きます

ヤ
ま
ど

電一市三丁目
番

刻半歸着		る	納得させた
る農地委員約五十名で大要を			
富城縣石巻市生れ無職瀬藤寅			
重子(三八)さん宅に侵入産			
益み更に午前十一時ころ大			
浦村太一森農業市販賣(一八)			
〔昭日〕さん宅に侵入したが發			
見され捕まらず地區署につ			
きだされたが、余罪ある見込			
〔合晩〕北よりの風弱く雲勝			
ち、雲により時小雨がべ			
らへくかもしません			
〔昭日〕北よりの風、雲勝ち			
次第に回復弱めてくる海上			
は多少波立ち鷺がかかるか			
ら航行中の船舶は御注意			
本場牛豚肉		マグネット 平市二丁目	蓄電池 發電機 電氣冷藏庫
自慢		久野電機工業所	電七二一采
【夜も營業】			
第一二綠屋			
新開樓			
平市中央通り 電1136			
電794電539			
のシーズンになりましたので			
マタ始めました			
何卒賛同に増し御引立			
御來店下さい			
ラ疑似發生 大童			
大童、同病は管内では三年來			
初めてで昨年小名瀬に發生し			
た豚丹毒よりも死「率が高い			
ので飼育者に充分注意するよ			
とて松			
延防止に			
5 望んでいる			
さん飼育			
日疑似コ			
務所では			
糖一八人か			
十八日か			
七號券で			
告額は			
土糞と物			
瓦等手			
依を窃取			
機手段で			
るる			

乗出資金一億圓の融資業者側縣の保證を陳情

乗出資金一億圓の融資

業者側縣の保證を陳情

乗出資金にも事缺く現状を開いて水産業の振興を図るうと十五日午後時より平市縣水産事務所に各ハマ代表の業者が參集、縣が一億円の融資の保證をするよう、縣は縣會へ陳情する事に決めた。これによるとこれから各種漁業に必要な乗出資金は最低二億五千万円は要るから一億円の融資を縣が保證すれば市中銀行もこれにより融資する見込みがあると云ふわけ同會議終了後度平市で開催中の縣下民生事業大會に臨席した縣會員にこれが陳情を行つたが十九日縣經濟委員会が開催するので當日もこれを曉書し業界の総力をあげこれが目的完遂のため運動を展開、來日した縣會は是年同業を通じてよろと云うもの。

水産省設置地方本部結成

近く署名運動を皮切りに發足

水産行政機構の擴充を圖るため今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

通じこれが諸業者名をとつて本部は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

め今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

め今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

め今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

め今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

め今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

め今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

め今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

め今月下旬乃至来月早々縣下の漁業關係者を以てて水産省は水産省設置運動を推進するため同中央本部の指令によつて活動するもので先づ第一に各ハマの漁業協同組合を

初夏の風情

(2)

薄漁船が底曳きをして来た

江名、小名瀬の底曳

漁船が一時底曳をや

め沿岸に寄つて来た

ビン長船を追つたため

漁竿をもち出し漁船

に早速りしてハマを感知し

たことの始りは去る八日江

グロ漁に轉換、一齊に相馬群

名港所属の底曳船第八次訪丸、原釜四、五十マイルの沖合に

ビン長船を追つたため

漁竿をもち出し漁船

に早速りしてハマを感知し

たことの始りは去る八日江